

予診票

本紙は、カラダの状態を判断する基本となるものであり、皆様により良い治療を提供するためのものです。可能な限りご記入くださいますようお願い致します。当院は、秘密を厳守致します。

フリガナ

お名前： \_\_\_\_\_

ご職業： \_\_\_\_\_

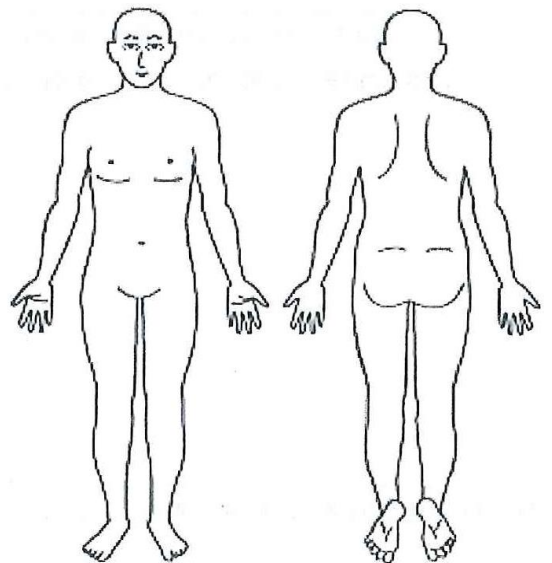
生年月日：(大正・昭和・平成) 年 月 日 ( 歳)

性別： 男 ・ 女

ご住所 〒 \_\_\_\_\_

ご連絡先： \_\_\_\_\_

【 主訴 】 最もつらい症状をお書きください。



★右の図において、つらいところに○をつけてください。

【 現病歴 】 症状はいつからですか？最初からの経過をお書きください。

【 随伴症状 】 主訴以外に気になる症状はありますか？

【 病院の受診の有無 】

主訴について病院で受診されましたか？・・・ ( 受診した ・ 受診していない )

○ 受診された方に質問です

・ \_\_\_\_\_ 病院の \_\_\_\_\_ 科を受診

・ 受けた検査： レントゲン ・ MRI ・ CT ・ その他 ( \_\_\_\_\_ )

・ 医師より受けた診断： \_\_\_\_\_

・ どのような処置を受けましたか： 湿布 ・ 内服薬 ・ 注射 ・ (その他 \_\_\_\_\_ )

・ 現在も通院中ですか？：( 通院中 ・ 今は行っていない )

【 既往歴 】

当院では生後～現在までの『カラダの歴史』に不調の原因があると考えています。以下の例に従って、現在までに発症された病気や手術、記憶に残るケガや打撲、捻挫など小さなものでも可能な限り詳しくお書きください。

[ 記入例 ]

[ カラダの歴史 ]

出生時	・ 予定日を過ぎても生まれず 促進剤投与後に生まれる。 ・ 出生後、軽い黄疸が出る。
1-5 歳	・ 3歳～10歳 小児喘息 ・ 5歳 鉄棒から落下。 頭を5針縫う。
6-18 歳	・ 12歳 サッカーで左足首捻挫 ・ 14歳 盲腸の手術 ・ 17歳 スキーにて転び背部を 強打
18-30 歳	・ 18歳 立ちくらみと左腰痛 が始まる。 アレルギー性結膜炎 ・ 19歳 中耳炎
30歳～ 現在	・ 24～27歳 仕事で強いストレス ・ 26歳 副鼻腔炎 ・ 28歳 子宮筋腫

出生時	
1-5 歳	
6-18 歳	
18-30 歳	
30歳～ 現在	

○痕に残っている傷はありますか・・・(ある・ない)

どんな小さな傷跡でもありましたら位置をお書きください

○今まで、かなりのショックやトラウマとなる出来事はありましたか・・・(ある・ない)

【 家族歴 】 血縁者の方のご病気、またあなたの症状に関係がある病気や症状がありましたら全てお書きください (\*例：父…糖尿病、母…高血圧、尿管結石、祖母：心臓病など)

【お薬】服用されているお薬、漢方薬、ビタミン剤、サプリメントなどありましたらお書きください。

【 予防接種について 】

○予防接種の時にショックや蕁麻疹など、異常な反応がありましたか・・・(ある・ない)

○通常では行わない予防接種をしたことがありますか・・・(ある・ない)

【 血圧 】

○ 血圧 \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ mm hg

○貧血と言われたことがありますか・・・(ある・ない)

【 女性の方にお質問です 】

○生理痛・・・(ある・ない)

○生理前緊張症・・・(ある・ない)

○生理不順・・・(ある・ない)

○その他、生理に関する症状・・・(ある・ない)

○出産の経験はありますか、ありましたら年齢をお書きください・・・(ある・なし)

例：30歳…第1子出産、33歳…第2子出産(帝王切開)

○中絶や流産の経験はありますか、ありましたら年齢と期間をお書きください・・・(ある・なし)

例：28歳…流産、3か月

【 嗜好品 】

○喫煙：( \_\_\_\_\_ 本/日) ○飲酒：(種類 \_\_\_\_\_、量 \_\_\_\_\_ /日・週・月)

○甘い物：( \_\_\_\_\_ /日) お菓子や果物など食べていれば記入してください

【 趣味 ・ スポーツ 】

○現在、過去にしていたスポーツやご趣味などあればお書きください。

【 当院を知ったきっかけ 】

○紹介： \_\_\_\_\_ 様のご紹介 ○その他： \_\_\_\_\_

【 その他 】 気になることがあればお書きください。(どのようなことでも結構です)

【 最後に 】

当治療院は、治療はもちろんですが、その先に皆様が豊かな人生を送るためのサポートをしたいと考えています。よろしければ治療の先に目指すものをぜひ共有させてください。

例：更年期症状を軽くして、色んなところに遊びに行きたい。生理を軽くすることでいつも元気でいられるカラダを作りたい。膝の痛みを治してマラソン大会に出たい。

# 鍼灸施術承諾書

## 1. 鍼治療による出血・内出血について

- \* 治療に用いる鍼は人の毛髪の太さとほとんど変わらないため、過度な心配は必要ありません。しかし、毛細血管の多い部位(顔や頭部など)や、内出血を起こしやすい体質の方(抗血栓薬などを服用している方も同様)は、出血や内出血を起こすことがあります。その際の出血量はごく僅かで、内出血は1～数週間ほどで自然に治ります。青あざが長期にわたって残ることはありませんのでご安心ください。
- \* 特に顔面は、四肢に比べ皮膚・筋肉が薄い為、痛み・皮下出血・青あざや多少の出血等が生じる可能性が高くなります。特に、美容鍼の場合は上記のことを十分にご理解の上での施術とさせていただきます。

## 2. 鍼痕（鍼治療後の膨らみ）について

- \* 治療後には全身、並びに局所の血行がよくなり、人によっては鍼を行なった箇所的一部分が数分から数時間小さく膨らむことがあります。ほとんどの場合は無感覚で元に戻ります。

## 3. 灸治療による火傷・火傷後の化膿について

- \* 灸の治療法にはあえて灸の痕(火傷)を残す方法もありますが、当院では痕が残りにくい治療法を行っています。しかし、体質・持病・特定薬剤の服用などにより火傷を起こす可能性があります。

## 4. 鍼灸治療による倦怠感・めまい・吐き気・発熱などについて

- \* 体質などにより個人差はありますが、身体に刺激を与えるため、激しい運動後や入浴による湯あたり(のぼせ)のような反応が現れることがあります。一時的な症状であるため、過度な心配は必要ありません。このような反応も施術を重ねることにより解消されます。

## 5. 瞑眩反応（げんうんはんのう）

- \* 施術後、一時的に反って症状が強くなったように感じる場合があります。これは体が回復していく過程の一つと捉えられています。

## 6. アルコール・消毒による反応

- \* アルコール・消毒後のかゆみ・火照り・かぶれが現れる方がいらっしゃいます。このような経験をお持ちの方はお申し出ください。

鍼灸院Konron 院長 南部美幸

以上、治療により起こる可能性がある身体反応をご説明いたしました。

上記の内容で分かりにくい点や、その他の疑問などがございましたら、お気軽にお尋ねください。ご理解頂けた方は、下記にご署名くださいますようお願い致します。

令和 年 月 日

ご氏名

---

※この説明と承諾は、医療におけるインフォームド・コンセントに基づき行っています。